

New Model

新百貨店モデルの具現化



『百貨店再生、さらに

新百貨店モデルの展開

J.フロント リテイリングは、マーケット対応力の強化とローコストオペレーションへの構造転換の実現に向け、新百貨店モデルの構築を進めています。

新百貨店モデルとは「お客様がわざわざ足を運びたくなるような、魅力的でかつ収益性の高い店舗を創造するための百貨店再生プログラム」です。具体的には、百貨店が本来得意とする中級から高級ゾーンの品揃えの維持・強化に加え、「ライフスタイルのカジュアル化」「節約志向・価格志向」というマーケットの大きな流れの変化に対応すべく、それぞれの店舗において、店舗戦略の明確化と徹底をはかる中で、

(1) 対象顧客層の拡大

(2) 品揃え幅の拡大、特に価格の幅の拡大

(3) スペシャリティゾーンの開発

(4) 高効率経営体制の実現

を推進しています。

品揃えの幅を拡大

松坂屋名古屋店は、対象顧客層の一層の拡大を目指すため、本館・北館・南館それぞれの特徴を明確にした売場づくりに取り組み、2012年から2年にわたる大改装を行いました。

2012年の第1期改装では、3月から4月にかけて、ヤングファッション、ラグジュアリーブランド、化粧品、アクセサリーなどの売場改装を行いました。南館は、2階に「うふふガールズ」を導入し、1階にはレディスセレクトファッションを集積するとともに、中部地区初となる日本



松坂屋名古屋店「うふふガールズ」

最大級のH&Mを導入しました。本館は、1階の化粧品・婦人洋品・アクセサリー売場を一新し、名古屋初となるブランドを多数導入しました。また、名古屋店の強みである本館2階の特選フロアは、名古屋初を含む6つの新規ラグジュアリーブランドを導入して再構築。名古屋地区ナンバーワンの品揃えをさらに強化し、特徴化を徹底しました。さらに、北館1階は、スキンケア・ボディケア・ヘアケアブランドを集積し、名古屋地区最大級のナチュラルコスメゾーンに生まれ変わりました。

食品売場改装で、 一気に他フロアも活性化

そして2013年の第2期改装では、総仕上げとして、本館地下1階、2階の食品フロアを全面改裝、3月から順次オープンし、6月19日にグランドオープンしました。

第2期改装では、「名古屋随一のフードゾーン“ごちそうパラダイス”」の構築を目指し、全国初・名古屋初の有力ショップを多数導入。地下2階には、大丸神戸店で好評の、洋風の高感度な食スタイルを提案するスペシャリティゾーン「ターブルプリュス」を新たに展開しました。施設面ではフロアの見通しを悪くしていた中央部の段差を取り払うとともに、売場導線を全面的に見直し、見やすく買いややすい売場を実現しました。

4月には、改装工事の影響で面積が縮小する中、食品部門の売上は、9.1%の増となり、その後売場の順次オープンに従い売上はさらに伸び、上期の食品の売上は11.7%増となりました。



松坂屋名古屋店「ごちそうパラダイス」

2012年に食品フロアを全面改装した大丸神戸店と同じく、入店客数の増加を通じて上層階の売上にも効果が波及しており、特に、婦人雑貨など第1期改装を行った売場の売上が大きく伸びています。

また、3月には大丸梅田店で好評のポケモンセンターを名古屋店にも導入、子供服の売上が19.6%増となったほか、お子様連れのお客様のご来店が顕著に増加しています。こちらについても、顧客層の幅の拡大を通じた各階への波及効果は大きいとみています。

加えて、名古屋店は富裕層に圧倒的強みを持つ店舗であることから、外商顧客を中心とした高額品の売上が非常に好調で、上期のラグジュアリーブランドは12.7%増、美術宝飾貴金属は54.9%増となりました。

以上の結果、名古屋店の上期の売上は、面積増が全くないにもかかわらず、対前年11.5%の大増となり、当社が進める新百貨店モデル構築の成果が表れたものと考えています。名古屋店は重点強化店舗と位置づけており、引き続き経営効率の改善を進め、収益力の強化につなげていきます。

ローコストオペレーションの進展

当社では、売場運営形態を「ショップ運営」と「自主運営」の2つに峻別し、それぞれの特性に合ったオペレーションシステムの確立と要員配置計画、人材の育成などの取り組みを進めています。

2012年9月には、人材派遣業の株式会社ディンプルを会社分割することにより「株式会社大丸セールスアソシエイツ」を新たに設立。同会社への百貨店売場運営業務の移管と専門性向上により、さらなる売場オペレーション効率向上に向けた取り組みを始めています。

後方事務部門については、すでに心斎橋店・梅田店・京都店・神戸店の関西4店舗、および東京店・上野店など首都圏地区店舗において、それぞれエリアでの組織・機能統合を実施し、一層の組織のスリム化・効率化をはかっています。